

江戸時代に造られた
山崎家の茶室と庭園を
期間限定で公開します。

特別公開

山崎家 庭園・茶室の公開(秋)

中野区指定記念物

しょういや
【醤油屋のしいの木】

樹齢約500年ともいわれる椎の木。
慶応4年(1868)、上野戦争で敗れた彰義隊が
この木の下で休息したと伝わる。



2024年

10月1日(火)～11月3日(日・祝) 公開時間：9時～16時

■入館料：無料 ■休館日：月曜日・第3日曜日 [雨天、荒天時は公開中止]

山崎家は農業のかたわら質屋の営業、のちに醤油醸造にも進出し、江戸近郊でも有力な富家となりました。また、江古田村丸山組の名主や、明治維新後には官選の名主、戸長を経て東京府会議員、野方村長などをつとめました。名誉都民である八代目喜作氏の代に、資料館用地と資料群が中野区に寄贈されました。庭園のなかには椎の巨木がそびえ、いくつかの石造物が配置されています。茶室・書院の建物は天保12年(1841)に建てられ、中野筋の鷹場であった当地に幕府役人が来た際、ここに立ち寄ったといわれています。

【整地碑】

江古田地域の区画整理事業が完了した記念として昭和17年に建てられたもの。松が丘2丁目より、今年7月山崎家庭園に移設された。



山崎記念
中野区立歴史民俗資料館

※中止または延期、内容などが変更される場合があります。茶室・書院は庭園からの観覧となります。